

スウェーデン再発見

ニルスと旅する

NILS HOLGERSSONS UNDERBARA RESA GENOM SVERIGE

スウェーデン



監修：齋藤惇夫

作家・児童文学者。福音館書店の専務取締役(編集責任者)として子どもの本の編集に携わり、2000年に退社、創作活動に専念。著書に『グリックの冒険』(岩波書店・日本児童文学者協会新人賞受賞)、『冒険者たち』(岩波書店・国際アンデルセン賞優良作品賞受賞)、『ガンバとカワウソの冒険』(岩波書店・野間児童文芸賞、国際アンデルセン賞優良作品賞受賞)などがある。

地理の副読本だった「ニルス」

妖精にいたずらをして小人にされた少年ニルスが、ガチョウのモルテンの背に乗り、ガンの群れとともにスウェーデンの空を北に向かう。日本でもテレビアニメーションとなった「ニルスのふしぎな旅」。懐かしく思い出される方も多いと思います。この美しい冒険物語、実はスウェーデンの小学生のために書かれた「地理の副読本」だったこと、ご存知でしたか？

今から100年以上も昔の1902年(明治35年、日本では日露開戦の二年前)に、元教師で新進気鋭の女流作家であるラーゲルレーヴは、熱心な女性教師たちから「子どもたちのために地理の読本教材を書いてくれないか」という依頼を受けます。当時のスウェーデンでは「女性は

家に戻れ」という考え方に疑問が持たれ始め、「これからは女性と子どもの時代である」という気運が盛り上がりを見せていました。それに伴い新しい教育方法の見直しも行われていました。ラーゲルレーヴは一度依頼を断りますが、「子どもたちのために」という熱意に心動かされて執筆を承諾。入念な下調べを行い、舞台となるスウェーデン国中を自らの目で見て回り、「ニルスのふしぎな旅」を書きあげました。

未来を背負う子どもたちのために一人の女性が、ありったけの優しさと厳しさを込め、本気になつて挑んだ偉業——物語が完結する第二巻が上梓されたのは、依頼を受けた1902年から5年の歳月が流れた、1907年のクリスマスのことでした。

愛する心、 生きる喜び

「ようやくスウェーデンにも、子どものための文学が生まれた」と言われた「ニルスのふしぎな旅」。小学校で配られたこの「副読本」は、瞬く間に子どもたちの心を魅了しました。そして夢中になっている子どもたちを見て、「どうしてだろう」と本を手にした大人たちもまた、その素晴らしい度に度肝を抜かれることになりました。

空の上から、時には地面に降り立って、ニルスはスウェーデン中の気候風土や特色、人々の暮らしを見つめます。そして様々な経験を通して、自然とともに生きる大切さや難しさに気づき、「愛する心」を知っていきます。自分を愛し、人を愛し、自分の国を愛し、自然を愛し、他の動植物を愛する。そして「生きる喜び」を知る……。幼い頃、人は物語の主人公になりきって本を読んでいくもの。子どもたちは皆ニルスになって、スウェーデンの空



挿絵：ベッティール・リーベック 1887-1945
「ニルスのふしぎな旅」の挿絵としてスウェーデンで最も評価が高く、長く親しまれている。

を飛び、ニルスと一緒に感じ、考え、成長していったのです。

スウェーデンの 底力

出版から二年後の1909年、ラーゲルレーヴは女性で初めてのノーベル文学賞を受賞し、ス

ウェーデン人が誇りとする国民的作家となりました。後に「長くつ下のピッピ」や「やかまし村の子どもたち」などの作品を世に送り、同じく国民的作家となるリンドグレーンもまた、ラーゲルレーヴの思想に影響を受けた女性です。リンドグレーンは物語を書く傍ら、スウェーデン社会のオピニオンリーダーとして動物

愛護や子どもの教育、暴力の排除など、政治に対して重要な意見を述べてきました。子どもたちのために、自然のために、自分たちの愛する国のために：「NO」と言うべきときには「NO」と言い続けた彼女の主張に拍手を送り、スウェーデンの進むべき道を決めてきたのは誰だったのでしょうか？他でもない、幼い頃に

ニルスと一緒に旅をして育った大人たち。社会を見つめる確かな目を持ったスウェーデンの国民たちだったのです。こうして今でも「ニルスのふしぎな旅」はスウェーデンの常識であり、良心であり続けています。世界に先駆けて女性の権利や子どもの権利を尊重し、環境破壊の危険性を叫び、弱者へのあるべき姿勢を示したスウェーデンという国の底力：それは難しい法律や書物、哲学者の言葉ではありません。陽に焼けた子どもたちが夢中になつて楽しんで物語、「子どもたちのために」と、100年以上も昔に書かれた「ニルスのふしぎな旅」だったのです。

「スウェーデン再発見ニルスと旅するスウェーデン」では、一年間にわたり「ニルスのふしぎな旅」から紐解くスウェーデンの姿を特集していきます。どうぞご期待ください。

※文献は福音館書店発行、セルマ・ラーゲルレーヴ作「ニルスのふしぎな旅(上)(下)巻」(釜木晃子訳)によります。